

書香

1999. 3. 26

No. 33

目 次

- ◎「雪女」民話をめぐって
(理学部教授 鈴木 邦雄) 1
- ◎ 諸 報
- 西暦819年の日蝕
(附属図書館長 小谷 仲男)
－ 複眼で読む世界史－ 2
 - 初代ヘルン文庫の設計図をめぐって(続)
－ 馬場記念公園(旧制富山高等学校の跡地)に
ヘルン文庫の記念碑建立－ 3
 - 附属図書館利用説明会について 4
 - 『松江ハーンゆかりの地を訪ねて』展
－ 文化週間にちなんでヘルン文庫公開－ 4
 - 図書館で初めて行った公開講座
－ 小泉八雲と「ヘルン文庫」－
－ 人文学部 村井文夫 助教授が講師 4
 - 文部省学術情報センター利用説明会を開催 4
- ◎ ニュース
- 学生用新着図書コーナーの設置について 5
 - 本学教官執筆図書コーナーの設置
－ 本学教官執筆図書案内 5
 - 証明書自動発行機を設置 8
- ◎ シリーズ
- 全国国立大学大型コレクション及び
自然科学系特別図書案内 8
 - 1999年版外国雑誌案内 9
 - 附属図書館利用案内 11
 - 平成11年度附属図書館開館・休館のご案内 13
 - 図書館関係会議 14
 - 平成10年度附属図書館商議員名簿
(平成11年3月15日現在) 14

「雪女」民話をめぐって

理学部 教授 鈴木 邦雄 (すずき くにお)

一昨年ビクターからリリースされたCD『雪女』(PRCD-5249)に収められている「ギターと朗読のための『雪女』」(ギター独奏柴崎建司氏, 朗読小林一恵氏)は, 松谷みよ子氏によるテキスト(『松谷みよ子の民話』1990年, 学研カセットブック。他にも諸版あり)に基づいて服部和彦氏が作曲された作品である。特殊奏法を駆使したギターが多彩な雰囲気醸し出すのに成功している。このCDには吉川二郎氏の自作自演によるギター独奏の為の「組曲『雪女』」も収められている。つまり「雪女」をテーマとする二種類のギターの為の作品が入っているわけだ。吉川氏の作品は, あづみ野児童文学会編『白馬の民話』(1995年, 信濃教育会出版部)中の平林治康氏のテキストを元に作曲されている。このCDとの出会いを契機に「雪女」民話に興味を持って調べている。

「雪女」と言えばすぐにハーンの『怪談』(1904

年; 平井呈一訳岩波文庫版, 田代三千稔訳角川文庫版など諸訳あり)が思い出される。当館の秋元國男氏が編纂された労作『小泉八雲関係文献目録改訂版』(1998年, 富山大学附属図書館)には多数の関連文献が挙げられている。「雪女」民話は東北日本各地に多く, いくつかの系統に分類できる。ハーンは『怪談』序文中で, 「武蔵の国西多摩郡調布ごおりのある農夫が, 村の言伝えとして語ってくれた話」とその出所を明記している。松谷氏のテキストの元になった『信濃の民話』(1957年, 未来社)には「採集村沢武夫/再話松谷みよ子」と明記されているが, 学研版では村沢氏の名は抹消され「松谷みよ子原作」となっている。民話に現代人の原作者とは奇異である。舞台が武蔵の国から白馬岳に, 若い獵師と雪女の名前が巳之吉とお雪から箕吉とゆきに変ったりしているが, 内容はハーンの「雪女」と同工異曲(平林氏のテキス

トも同様)。地理的にも離れ、風土も大いに異なっているのに、内容が驚くほど一致している理由が知りたい。採話の時代もかなりずれている。松谷氏は、参考文献・資料として岩手県遠野の昔話を集めた佐々木喜善の『聴耳草紙』(1931年、中外書房；ちくま文庫版1993年)を挙げている。柳田國男の『遠野物語』(1910年；ちくま文庫版全集他諸版あり)誕生の契機になった作品で、「雪姫」という話は載っているが「雪女」とは異質であり、他に類似の話は見当たらない。松谷氏のポプラ社版『ゆきおんな』も内容は殆ど同じだが、氏の創作と推定される部分が挿入されている。民話に伝承されていないことを書き加えたりする行為は、文化遺産の破壊ではないだろうか。

民話は、伝承過程で必然的に多様な変貌を遂げる。『信濃の民話』の「雪女」は、文章は後の松谷氏の方が流麗だが、最初の吹雪の晩に茂作と箕

吉が山小屋へ辿り着く迄の描写、お雪が茂作の命を奪った後に箕吉に口止めする言葉、お雪についての村人たちの噂、茂作の死んだ吹雪の晩を思い出して箕吉がお雪に語る台詞、お雪が最後に「雪の精です」と告白する場面など、よほど説得力に富んでいる。いずれも松谷氏の後のテキストではかなりハシヨられてしまっている。

『越中の民話』(1974年、未来社)にも「話手下新川郡朝日町 大井四郎」として富山方言の「雪女」が載っている。それも同根の話だが、細部がいろいろと修飾されている点が面白い。鈴木直氏の『越後の国 雪の伝説』(1942-49年、目黒書店；歴史図書社1979年)にはどれも興味深い筋立ての五種類の「雪女」が収められている。いつか生物系統学の方法論を用いて、多様な「雪女」民話の系統関係を推定したいと考えている。

諸 報

西暦 819 年の日蝕

— 複眼で読む世界史 —

附属図書館長 小谷 仲男

本学の附属図書館には初期イスラム史研究に欠かせない書物として *Encyclopaedia of Islam* (旧、新版), *Bibliotheca Geographorum Arabicorum* (アラビア地理叢書) 8 巻, 英訳『タバリーの歴史 (*The History of al-Tabari*)』全39巻が蔵書されている。現在、私はタバリー (A. D. 839-923) の著作した『歴史』を授業のテキストに使用する。その第32巻、イスラム暦 A. H. 203年12月28日の条に珍しく日蝕の記述があったので紹介する。

「太陽が高く昇りつつあった時、光が徐々に陰りはじめ、太陽の輪郭2/3以上が欠けてしまった。正午近くになってようやくもとの太陽に戻った。」その日を西暦に換算すると、819年6月26日になる。私は手元の中国側の歴史書、司馬光『資治通鑑』を開いてみたが、該当年月日には日蝕の記事がなかった。その前後を読んでも、唐・憲宗皇帝の元和13年の条に「六月癸丑、日有食之」とあった。これを西暦に換算すると、818年7月7日となる。最初、この一年違いの日蝕はタバリーの伝承年の誤りで、同一日蝕かと考えたが、日蝕

の頻度からすると、別々のものであろう。A. D. 818年7月7日に唐の長安で観察された日蝕が、太陰暦の一年周期を経て (354日), A. D. 819年6月26日にアッバース朝の首都バグダードで観測されたことになる。A. D. 818年の日蝕については、『新唐書』天文志に「元和十三年六月癸丑朔、日有食之。在輿鬼一度、京師分也」とあり、中国では観測データを残し、また計算上でも日蝕がほぼ正確に予告できていたとおもえる。当時、中国から同じカレンダーを頒布してもらっていた新羅、日本でも同じ日に「日有食之」と記録する (『三国志記』、『日本紀略』)。

私はこのように東西の歴史記録を読みくらべながら、世界史を複眼的に考えようとしている。日蝕そのものは歴史を動かす力とならないが、タバリーは821年の記事に Toghuz-Oghuz トグズ・オグズという中央アジアの遊牧民族が北方境界に到来したことを記す。トグズはトルコ語で9を意味し、中国の歴史書には「九姓鉄勒」あるいは「九姓回鶻」と書く。つまり「9部族を統合したトル

コ系遊牧民族」のウイグルを指す。当時モンゴル高原の遊牧民であったウイグル人は、かれらのウマと中国の絹とを交易した（絹馬貿易）。かれらが入手した中国産の絹の一部は商品として、西方のイスラム世界や地中海世界にまで運ばれていった。絹ばかりでなく、そのシルクロードを通して東西世界のさまざまな産物、知識、技術、思想が交流した。シルクロードはいわば世界の文明度を

平均化するサイフォンであった。一見、独立して別々の歴史を営んでいるかのように見える地域も、実は無意識にせよ、あるいは意識的にせよ、このような細い重要なパイプではるか昔から結ばれ、ひとつの世界史を展開してきた。同じ太陽、星の下で生きてきたわれわれ地球人は、これから生き続けるためにも地球規模の歴史にもっと目覚める必要がある。

初代ヘルン文庫の設計図をめぐって（続）

——馬場記念公園（旧制富山高等学校の跡地）にヘルン文庫の記念碑建立——

平成10年10月15日（木）、旧制富山高等学校創立75周年記念式典が催されたが、そのセレモニーの一つとして、旧制富山高等学校のあった富山市蓮町の馬場記念公園の旧ヘルン文庫跡地に建立された「ヘルン文庫碑」の除幕式があった。

式典には、旧制富山高等学校同窓会の方々の外に、来賓として初代ヘルン文庫建物設計者である山口蚊象氏のご息子の勝敏氏（東京在住で作曲・編曲家）と山口設計事務所の業務を引き継いでおられる村越正明氏、前号で述べた「ヘルン文庫が富山に来た経緯」を執筆された金沢在住のハーン研究家の染村絢子氏等が出席された。式典後、以上の関係者が本学のヘルン文庫を訪れ、ヘルン文庫設計図を検証された。

前号からの経緯を説明すると、ヘルン文庫の建設にあたって、昭和8年に当初地元の業者に設計を依頼した案では見積額が8,800円だったのに対し、馬場家からの建設資金の寄付が7,000円だったので折り合わずご破算となった。

その年の9月21日に、富山県ゆかりの北星堂書店社長の中土義敬氏から松江のヘルン記念館を設計した山口蚊象氏の紹介があり、設計を同氏に依頼することになった。設計図が出来ぬまま10月17日に馬場家を迎えて地鎮祭が執り行われた。

設計に際して山口氏には、五間四方の鉄筋の建物で、廊下を高くして通気をよくし、防火、腐食などに工夫をこらし、中央部に書庫、周囲は閲覧室、周囲には植樹などの要望が出された。

昭和9年3月21日に設計図が到着したが見積額が7,700円だったため手直しを依頼した。この間山口氏とのやり取りが手紙、電報で行われ、その手紙が残されている。

第2案では見積額が7,100円であったが、蚊象氏が病気がちだったこともあって、最後は地元任された。一部設計変更を加えて10月5日着工し、昭和10年5月10日に落成式を行った。

設計図を照合すると、松江のヘルン記念館は洋風ギリシャ神殿風だったのに対し、富山は和風茶室風で、その外装に蚊象氏の特徴が出ているという。さらに、窓の高さにそった机が設計図に描かれ、家具にも凝った蚊象氏の思想が設計図に描かれている。23枚にも及ぶ設計図とヘルン文庫の写真を照合したところ、これは蚊象氏の設計図に間違いがないことが確認された。60年前に父が設計した図面を目の当たりにした勝敏氏は感無量の様子だった。同行の村越氏は建築史的にも価値ある設計図なので、論文としてまとめたいと語っておられた。

この美しいヘルン文庫の建物が馬場記念公園の岩瀬運河に面した辺に復元される計画があると聞く。レストハウスとして、市民の憩いの場となる日が待ち望まれる。（図書館専門員 秋元國男）



附属図書館利用説明会について

さる11月4日、平成10年度の第2回附属図書館利用説明会を図書館6階マルチメディア研修室において開催しました。学部学生及び大学院生を対象とし、説明とパソコンによる実習を中心に進められました。内容は第1回と同様に行い、参加者

は当初予定していたよりもやや少なめでしたが、次回からは、これまでの実績を踏まえ、これからの情報教育のニーズに対応したメニューを企画し、皆さんの期待に沿った利用説明会を行いたいと思います。どうぞ奮ってご参加ください。

『松江ハーンゆかりの地を訪ねて』展

— 文化週間にちなんでヘルン文庫公開 —

文化週間にちなんで、例年11月3日の文化の日前後にヘルン文庫を公開していますが、今年も11月4日から6日までの3日間、新館5階フロアで行いました。

1890年（明治23年）、ハーンが岡山から中国山脈を越え、松江にたどり着いたのは8月の末でした。それから翌年の11月5日までの1年3ヶ月の松江滞在の間、ハーンは勢力的に神社仏閣、民話・伝説の地を巡っています。今回は、そんなハーンの辿った「ゆかりの地」の写真展を中心に構成しました。

ハーンが松江へ到着した大川の船着場、最初に泊まった松江大橋のたもとの富田旅館、松江大橋を渡る下駄の音で有名な松江大橋など、20点あまりを展示しましたが、中でも八重垣神社の「鏡の池」の紙占いには見学者から多くの関心が寄せられました。

ハーンが題材とした怪談、民話・伝説の縁の地は多くあり、今後こうした縁の地の紹介によってハーン文学への理解を広めて行きたいと思っています。

図書館で初めて行った公開講座

小泉八雲と「ヘルン文庫」—人文学部 村井文夫 助教授が講師

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が所持していた蔵書・ヘルン文庫が富山へ来て75年になるのに、県民には余り知られていません。島根県松江市の方がハーンの縁の地として有名ですが、実際は1年3ヶ月しか住んでいなかったのです。この違いはハーンが富山に住んだことも立ち寄ったこともないのに対して一方では、日本文化を愛したハーンと城下町松江とが見事にマッチし、さらに旧跡、遺品などの保存・公開に地方が熱心に取り組んでいることから来るものでしょう。

本学ヘルン文庫は、蔵書を中心にして、著書や伝記、及びハーンを対象とする研究書、雑誌の論文などが豊富に揃っています。毎年数回マスコミで取り上げてもらい、機会ある毎に公開していますが、ハーンの研究となると余り利用がないのが実情です。

生涯学習の場として、広く県民に親んでもら

う機会を早くから願っていたところ、平成10年度の富山大学の公開講座に参加する機会を得ました。

講師の人文学部村井文夫助教授が10月22日（木）から11月12日（木）までの間の4回にわたり、図書館3階の会議室で講義され、83歳の方をはじめとする12人の受講生は

- (1) ヘルン文庫と小泉八雲
- (2) アメリカ時代のハーンとヘルン文庫、ローニー
- (3) ハーン、チェンバレン、漱石
- (4) 怪談—晩年の小泉八雲

と題する講義を毎回興味深く熱心に聞き入れられました。ヘルン文庫の見学やビデオ鑑賞も交え、ハーン研究の入門に辿り着いたようです。今後、ハーン研究の文献が揃っているこのヘルン文庫を活用して多様な学習の継続を望んでいます。

文部省学術情報センター利用説明会を開催

さる12月11日に学内の教官、大学院生及び図書館職員を対象とした学術情報センターの利用説明会が開催されました。

この説明会では、学術情報センターが大学に講師を派遣して行っている事業で、同センターがインターネットを介して提供している様々な学術情報データベースサービス（情報検索サービス及び電子図書館サービス）の概要、利用方法、利用申請などについて、デモンストレーションを交えた説明と実習が行われました。

説明会には学内者のほかに近隣機関からの参加者もあり、総勢70名にのぼり、関心の高さが伺えました。当初は附属図書館マルチメディア研修室を会場として予定していましたが、参加人数が多いため急きょ総合情報処理センターのソフトウェア演習室に変更して、参加者全員が端末を操作できる環境下で行われました。一人ひとりが講師やアシスタントの指導を受けながら熱心にデータベースの検索実習を行い、それぞれの場での今後の成果が期待できる意義深い説明会となりました。

学生用新着図書コーナーの設置について

図書館では、学習・教養図書、基本参考図書の充実に努めていますが、学生用図書として新たにどんな図書が入ったのか皆さんへご案内する機会が少なかつたように思われます。そこで、1階に「学生用新着図書コーナー」を設置しました。こ

のコーナーには、学生用図書として新たに購入した図書を毎週火曜日に配架します。1週間展示した後、1階の参考図書（辞典類等）コーナーや学生用図書の書架に配架し、貸出可能となります。新書版図書は、2階の自由閲覧室に配架します。

本学教官執筆図書コーナーの設置

学生の皆さんには、先生方がどのような研究をしているのか、又どのような本を書いているのかということに関心をお持ちのことと思います。そこで、図書館では、2階の自由閲覧室に「本学教官執筆図書コーナー」を設置して紹介しています。現在このコーナーには、昭和60年度以降に受入れ

た図書資料を選び配置していますが、今後本学教官のご協力を得て収集に当たり、益々充実するように努め、皆さんの学習や研究に役立つコーナーにしていきます。並べて配置してある本学の出版物（学部紀要等）と併せてご利用ください。

本学教官執筆図書案内

附属図書館では、本学の先生方が執筆された図書資料を積極的に収集し、本館2階に本学教官執筆図書コーナーを設け配置し、利用に供しています。出版されましたら是非図書館に2部ご恵贈くださるようお願いします。

なお、先生方からご寄贈いただいた図書は附属図書館ホームページで紹介するとともに、このページでも紹介します。以下のリストは昭和60年度以降に受入した資料です。

■総記

やさしいDelphi／村上宣寛著（教育学部）
日刊工業新聞社 1997 (007.64-M94-Ya)

■哲学・心理学・宗教

最新コンピュータ性格テスト／村上宣寛著（教育学部）
日刊工業新聞社 1993 (141.9-M94-Sa)

■歴史・地理

近世の地方都市と町人／深井甚三編（教育学部）
吉川弘文館 平成7年（1995）(210.5-F96-Kin)
近世越登賀（越中・能登・加賀）資料 第一／深井甚三編（教育学部）
桂書房 1992 (214.2-F96-Ki=1)
地域システム／溝口雄三等編著
東京大学出版会 1993（アジアから考える2）(220.04-M69-Ch)
内容：アジア地域国際関係の原像（佐藤幸雄）（経済学部）ほか
現代の地理学／中藤康俊編著（経済学部）
大明堂 平成2年（1990）(290.1-N15-Ge)
人文地理学入門／中藤康俊著（経済学部）
古今書院 1985 (290.1-N15-Ji)

■ 社会科学

- イメージとしての〈帝国主義〉／柏木 博, 小倉利丸編著 (経済学部)
青弓社 1990 (304-Ki15-Im)
- アシッド・キャピタリズム／小倉利丸著 (経済学部)
青弓社 1992 (304-Og-As)
- Acid Capitalism
- 断裂社会：第三世界の新しい民衆運動／アラン・トゥレーヌ著 佐藤幸男訳 (教育学部) 新評論 1989
(309.02-T64-Da)
- 市民社会の思想と運動／小柳公洋, 桂木健次編著 (経済学部)
ミネルヴァ書房 1985 (309.023-K84-Sh)
- 日本ファシズムと「国家改造」論／小松和生著
世界書院 1991 (311.8-K83-Ni)
- 近代天皇制国家の成立／小松和生著 (経済学部)
世界書院 1986 (社会科学選書) (312.1-K83-Ki)
- 法的現象論序説／駒城鎮一著 (経済学部)
世界思想社 1985 (320-K82-Ho)
- 理論法学の方法／駒城鎮一著 (経済学部)
世界思想社 1978 (321.16-K82)
- 社会システムと法の理論／駒城鎮一著 (経済学部)
世界思想社 1996 (321-K82-Sh)
- 普遍記号学と法哲学／駒城鎮一著 (経済学部)
ミネルヴァ書房 1993 (321.1-K83-Fu)
- 権利のための法学入門／深田三徳, 駒城鎮一著 (経済学部)
ミネルヴァ書房 1980 (323.143-F96)
- カリフォルニア会社法／北沢正啓, 戸川成弘訳 (経済学部)
商事法務研究会 平成2年(1990) (325.95393-C12-Ki)
California General Corporation Law.
- 環境と福祉の経済学／桂木健次著 (経済学部)
ミネルヴァ書房 1987 (331-K16-Kan)
- 支配の「経済学」／小倉利丸著 (経済学部)
れんが書房新社 1985 (331-Og9-Sh)
- マーシャルと同時代の経済学／井上琢智, 坂口正志編著 (経済学部)
ミネルヴァ書房 1993 (331.74-M35-In)
- 価格水準と所得分配／小原久治著 (経済学部)
勁草書房 1985 (331.85-Oh-Ka)
- ネットワーク支配解体の戦略／小倉利丸著 (経済学部)
影書房 1986 (332.06-Og9-Ne)
- 幕藩制解体期の経済構造／小松和生著 (経済学部)
清文堂 1995 (332.105-K83-Ba)
- 経済政策原論／小原久治著 (経済学部)
高文堂出版 平成7年(1995) (333-Oh-Ke)
- 現代日本の食糧問題／中藤康俊著 (経済学部)
汐文社 1983 (講座日本の国土・資源問題4) (334.7-K84-Ni=4)
- 日本企業の経営理念／水谷内徹也著 (経済学部)
同文館出版 平成4年(1992) (335.1-M69-Ni)
- レギュレーション・パラダイム：社会理論の変革と展望／海老塚明, 小倉利丸編著 (経済学部)
青弓社 1991 (クリティーク叢書7) (361-Eb4-Re)
- ポストサービス社会：崩壊する高度技術社会の神話／バリー・ジョーンズ著 小倉利丸訳 (経済学部)
時事通信社 昭和59年(1984) (361.5-J71-Po)
- Sleepers, Wake! : Technology & the Future of Work. by Barry Jones.

家族とは何か：その言説と現実／J.F.グブリアム, J.A.ホルスタイン著 中河伸俊ほか訳 (人文学部)
新曜社 1997 (361.63-G93-Ka)

What is Family? / J.F.Gubrium & J.A.Holstein

搾取される身体性：労働神話からの離脱／小倉利丸著 (経済学部)
青弓社 1990 (366-Og9-Sa)

子どもというレトリック：無垢の誘惑／中河伸俊, 永井良和編著 (人文学部)
青弓社 1993 (367.6-N15-Ko)

過去, 現在, 未来における自己の価値づけの変容過程とその規定要因の検討／塚野州一著 (教育学部)
風間書房 平成8年(1996) (371.45-T82-Ka)

江戸の旅人たち／深井甚三著 (教育学部)

吉川弘文館 1997 (歴史文化ライブラリー) (384.37-F96-Ed)

■自然科学

凶翁 遠近道印：元禄の絵地図作者／深井甚三著 (教育学部)
桂書房 1990 (448.9-Oc3-Fu)

岡田豊田博士論文選集(1936-1988) / 鈴木邦雄編 (理学部)

岡田豊田博士論文集刊行会 1988 (486.04-Ok-Su)

現代日本の医薬品産業／小原久治著 (経済学部)

高文堂出版 平成8年(1996) (499.09-Oh-Ge)

医療用医薬品市場の競争構造／小原久治著 (経済学部) 増補改訂

高文堂出版 平成7年(1996) (499.09-Oh-Ir-25)

Continuous Exponential Martingales and BMO / Kazamaki, Norihiko (理学部) (410.8-L49-1579)

■工学

原発事故の起きる日：緊急避難はできるだろうか／山本定明, 淡川典子著 (教育学部)

技術と人間 1992 (543.5-Y.m3-Ge)

■産業

地域経済を支える地場産業・産地の振興策／小原久治著 (経済学部)

高文堂出版 平成8年(1996) (601.1-Oh-Ch)

産業地域の形成と変動／植村元覚, 中藤康俊編著 (経済学部)

大明堂 昭和60年(1985) (602.14-Ue5-Sa)

貿易摩擦と独禁法／滝川敏明著 (経済学部)

有斐閣 1994 (678.1-T14.9-Bo)

幕藩制下陸上交通の研究／深井甚三著 (教育学部)

吉川弘文館 平成6年(1994) (682.1-F96-Ba)

■芸術

ガンダーラ美術とクシャン王朝／小谷仲男著 (人文学部)

同朋社 1996 (東洋史研究叢刊之51) (702.098-K84-Ga)

カルチャー・クラッシュ：制度の壁に挑む文化のアクティビスト／小倉利丸著 (経済学部)

社会評論社 1994 (704-Og9-Ka)

韓国絵画史／安輝瀘著 藤本幸夫, 吉田宏志訳 (人文学部)

吉川弘文館 昭和62年(1987) (722.1-An6-Ka)

ゴスペル・サウンド／アンソニー・ヘイルバット著 中河伸俊ほか訳 (人文学部)

ブルース・インターアクションズ 1993 (767.8-H36-Go)

The Gospel Sound : Good News and Bad Times / Anthony Heilbut

野宿完全マニュアル：究極のアウトドア案内／村上宣寛著 (教育学部)

三一書房 1996 (786.3-M94-No)

■語学

■文学

源氏物語の受容：現代作家の場合／呉羽長著 (教育学部)

新典社 1998 (913.36-K96-Gen)

証明書自動発行機を設置

附属図書館本館に証明書自動発行機が設置されます。

これは学生部からの要望により設置するもので、本年4月からは、学生旅客運賃割引証、在学証明書（和文）、卒業見込証明書（和文）、修

了見込証明書（和文）等を必要の都度容易に手にすることができます。

設置場所は、1階のらせん階段下にある複写機の近くです。どうぞご利用ください。

シリーズ

全国国立大学大型コレクション及び自然科学系特別図書案内

（平成10年1月～12月）

下記の大学から利用の案内がありましたので、お知らせいたします。

資料の利用については、参考調査係へお尋ねください。

大 学 名	資 料 名
大阪教育大学	子供、高齢者、麻薬、アルコール中毒者、に対する“いじめ、虐待”に関する欧米文献コレクション（一般文献及び学位論文）
千葉大学	下総佐倉藩堀田家文書（マイクロフィルム版）
帯広畜産大学	Biotechnology in Agriculture and Forestry. Vol. 2, 3, 5, 8～40
岡山大学	ドイツ教育思想コレクション 432 点
東京工業大学	NASA Technical Report. 1993～1996年分（マイクロフィッシュ版）
熊本大学	多機能性有機分子の精密科学体系 Comprehensive Heterocyclic Chemistry. II. 1982～1995 & Comprehensive Supramolecular Chemistry. 22 vols with CD-ROM
豊橋技術科学大学	Chemical Abstracts Collective Index. 12CI, 13CI (CD-ROM)
新潟大学	American Dissertations of Japan Sea Rimearea. Pt. II（環日本海研究＜人文・社会編＞米国学位論文集） 722 titles 724 冊
三重大学	百部叢書集成（初編・続編・三編）5,862 種 11,238冊

1999年版外国雑誌案内

<新規雑誌>

- | | |
|--|--|
| Anatolian archaeology | International journal on document analysis and recognition |
| Applied mathematics and optimization | |
| ArchaeoZoologia | Journal of american history |
| Behavioral interventions | Journal of anthropological archaeology |
| Bibilographie internationale de l'humanisme et de la renaissance | Journal of archaeological science |
| CA Selects. Infrared spectroscopy, physicochemical aspects | Journal of convex analysis |
| CA Selects. Raman spectroscopy | Journal of east asian archaeology |
| Cambridge archaeological journal | Journal of ecology |
| Canadian journal of forest research | Journal of mathematical physics |
| Chaos | Journal of peace research |
| Comparative politics | Journal of productivity analysis |
| Cooperation and conflict | Journal of sociolinguistics |
| Discourse studies | Journal of women's history |
| Economics and philosophy | MIS quarterly |
| Educational researcher | Modern law and society |
| Flower trades journal | New York review of books |
| Fremdsprache Deutsch | Nonlinearity |
| Games and economic behavior | Physics reports |
| Hauswirtschaft und Wissenschaft | Review of international political economy |
| Information & management | Review of social economy |
| International food and agribusiness management review | Services industries journal |
| International journal of osteoarchaeology | Signs |
| International journal of the sociology of agriculture and food | The Slavonic and East European review |
| | Social science computer review |
| | Stochastics and stochastics reports |
| | Surface and coatings technology |
| | World archaeology |
| | Книжное обозрение |

<中止雑誌>

Accounting, management & information technologies	Journal of mathematical sciences
Acustica	Journal of modern history
American journal of physiology	Journal of physical organic chemistry
Annals of botany. N.S.	Journal of Southeast Asian studies
Applied radiation and isotopes	Journal of the Royal Statistical Society Series A
Aviation week and space technology	Low intensity conflict & law enforcement
Biochimica et biophysica acta	Marketing science
Bulletin of Indonesian economic studies	Mathematical biosciences
College English + English journal	Mathematical notes
Communication education	Phytocoenologia
Current genetics	Plant ecology
European journal of international relations	Plant, cell and environment
European journal of organic chemistry	Political studies
Excerpta medica. Sect.2 : Physiology	Psychological abstracts
I.E.E.E. Transactions on power delivery	SIAM Journal on discrete mathematics
I.E.E.E. Transactions on power systems	Solar physics
Indonesia	Studies in second language acquisition
International peacekeeping	Textile horizons
Internationale Politik	Textile progress
Journal of analytical and applied pyrolysis	Textiles
Journal of computational physics	Textilveredlung
Journal of consumer marketing	Ultrasonics
Journal of contemporary mathematical analysis	Vierteljahrshefte für zeitgeschichte
Journal of heterocyclic chemistry	Ботанический журнал
Journal of marriage and the family	Экономика России

～ 新入生の皆さんへ ～

附属図書館利用案内

附属図書館は、本館（メインストリートの突き当たり）と工学専門図書室（工学部キャンパスの管理棟1階）に分かれて、約88万冊の図書、約15,000タイトルの雑誌等を所蔵しており、様々なサービスを通じて教職員及び学生の教育・研究を支援しています。

以下の説明をよく読み、大いに利用してください。図書館のことでわからないことがあれば、遠慮なく係員にお尋ねください。

1. 開館時間

平日（学期中）

本館 8:30～20:30

工学専門図書室 8:30～20:00

（ただし、夏休み、冬休み及び春休みの期間中は、ともに8:30～17:00です。）

土・日曜日（学期中）

本館 12:30～16:30

工学専門図書室 12:30～16:30

2. 休館日

- ・休業中の土・日曜日
 - ・国民の祝日
 - ・本学創立記念日（5月31日）
 - ・年未年始（12月28日～1月4日）
 - ・その他、館長が特に必要と認めた日
- 詳細は、休館予定表をご覧ください。

3. 図書の貸出と返却

図書館資料は、館内で自由に閲覧することができます。

貸出を希望する場合は、図書と学生証を貸出カウンターに提出してください。貸出冊数及び貸出期間は、次のとおりです。

- ・学部学生 5冊以内 2週間以内

- ・大学院生 10冊以内 1ヶ月以内
- ・研究生、聴講生等は、学部学生と同じ（ただし、雑誌・参考図書・視聴覚資料は、貸出できません。）

なお、貸出手続きを受けずに図書を持ち出そうとすると、ブザーが鳴り、出口バーがロックされますので、注意してください。

貸出を受けた図書は、返却カウンターに返してください。閉館時は、玄関左側の返却ポストに入れてください。また、返却期限に遅れると貸出停止になりますので、遅れないでください。

貸出期限内であれば、1回更新できます（ただし、長期貸出や予約者がいる場合は不可）。

4. 資料の探し方

図書館資料の探し方には、①コンピュータを利用する方法（OPAC：オーパックと読みます）と、②カード式目録を調べる方法の2種類があります。

①のOPACで検索できる範囲は、昭和60年度（1985）以降に受け入れた図書、それ以前の受入本でもさかのぼってコンピュータに登録した図書、更に、所蔵する雑誌の全タイトルです。

OPACの使い方マニュアルは、コンピュータ横に備え付けてありますので、一読して活用してください。

昭和59年度（1984）以前の受入本については、コンピュータ未入力のものが多いので、上記②のカード式目録を調べてください。著者名・書名・件名等のカードがABC順（和図書はヘボン式ローマ字）に配列してあります。

5. 資料の配列

コンピュータあるいはカードを使って求める図書の情報が見つかったら、請求記号を確認してください。本を探す大切な手掛りになります。貸出

中でなければ、館内の配置場所ごとに請求記号順に本が並んでいます。請求記号は、下図のような数字・英字の組合せで、図書の背にラベルが貼ってあります。

1段目の数字は、学問分野をコード化した分類番号を採用しているのので、同じ番号あるいは近似の番号のところには、同じような研究内容の本が集まっています。関連文献を一緒に見つけるのに便利です。

(例) 夏目漱石『我輩は猫である』(漱石全集)

岩波書店

918.68

N21

Iw=1

ただし、コンピュータ画面上は横一列になって、918.68/N21/Iw=1 と表示されます。スラッシュ(/)ごとに1段落と考えてください。

貸出中のものを利用したいときは、返却期限日から判断して、(a) 近日中に返却されそうな場合は予約をかけます。(b) 教官や研究室に長期貸出されているものは、一時借用のための専用の申込書が貸出カウンターにありますので、記入してください。

雑誌については、請求番号は特にありません。基本的に、雑誌名順に配列されているからです。外国雑誌はABC 順、国内雑誌は五十音順です。

ちなみに、図書館資料は書棚の左から右へ、上の棚から下の棚へと並んでいます。1列の端まできたら裏側に続きます。

6. 館内の配置場所

[所在表示]	[配置場所]	[資料区分]
開架1	本館 1階	学生用図書、辞典等
開架2	本館南2階	雑誌(理工系)
開架2	本館南3階	雑誌(人文・社会系)
開架2	本館南4～6階	研究用図書
工学図	工学専門図書室	工学系の図書・雑誌

上表以外に、昭和59年度(1984)以前の受入図書は、本館の書庫1～2階及び工学専門図書室にあります。検索は、前途のカード式目録を利用してください。

雑誌のうち、大学・研究機関等の紀要・報告書類は、書庫3～4階に配架されています。開架2(本館南2～3階)の電動式集密書架で見つからない雑誌は、こちらを探してください。雑誌名のABC順に並んでいます。

書庫へ入るときは、学生証を提出してください(バック類は持込禁止です)。書庫の利用時間は平日9:00～17:00です。

7. 参考調査・文献複写

本学図書館にない資料でも他大学等の所蔵を調べて、コピーや現物を取り寄せることができます。(実費有料)。

また、館内にプリペイドカードが使える複写機を設置していますが、図書館資料を複写する場合は、著作権法に基づく所定の手続きが必要です。備付けの文献複写申込書に記入の上、カウンターに申し込んでください。

その他、図書館の利用方法や資料のことでわからないことがあれば、カウンターで気軽にご相談ください。

8. その他のサービス

① インターネット、CD-ROM

本館南1階のマルチメディア・コーナーに情報検索用のコンピュータが設置しており、インターネットやCD-ROMの検索ができます。

② ビデオ

語学学習等のビデオが用意しあります。貸出カウンターで申し込めば、本館北2階自由閲覧室内のビデオ・ブースで利用できます。

③ 紹介状

他大学の図書館を訪問して利用するときは、紹介状を発行しますので、事前に申し込んでおいてください。

④ 購入希望図書

教育・研究に不可欠な資料だけれど、本学には所蔵していないものについて、専用の申込書に必要事項を書いて、リクエストすることができます。

平成11年度 附属図書館開館・休館予定表

4月		5月		6月		7月		8月		9月		
1	木	短縮	1	土	1	火	1	木	1	日	1	水
2	金	短縮	2	日	2	水	2	金	2	月	2	木
3	土		3	月	3	木	3	土	3	火	3	金
4	日		4	火	4	金	4	日	4	水	4	土
5	月	短縮	5	水	5	土	5	月	5	木	5	日
6	火	短縮	6	木	6	日	6	火	6	金	6	月
7	水	短縮	7	金	7	月	7	水	7	土	7	火
8	木	短縮	8	土	8	火	8	木	8	日	8	水
9	金	短縮	9	日	9	水	9	金	9	月	9	木
10	土		10	月	10	木	10	土	10	火	10	金
11	日		11	火	11	金	11	日	11	水	11	土
12	月	短縮	12	水	12	土	12	月	12	木	12	日
13	火	短縮	13	木	13	日	13	火	13	金	13	月
14	水		14	金	14	月	14	水	14	土	14	火
15	木		15	土	15	火	15	木	15	日	15	水
16	金		16	日	16	水	16	金	16	月	16	木
17	土		17	月	17	木	17	土	17	火	17	金
18	日		18	火	18	金	18	日	18	水	18	土
19	月		19	水	19	土	19	月	19	木	19	日
20	火		20	木	20	日	20	火	20	金	20	月
21	水		21	金	21	月	21	水	21	土	21	火
22	木		22	土	22	火	22	木	22	日	22	水
23	金		23	日	23	水	23	金	23	月	23	木
24	土		24	月	24	木	24	土	24	火	24	金
25	日		25	火	25	金	25	日	25	水	25	土
26	月		26	水	26	土	26	月	26	木	26	日
27	火		27	木	27	日	27	火	27	金	27	月
28	水		28	金	28	月	28	水	28	土	28	火
29	木	みどりの日	29	土	29	火	29	木	29	日	29	水
30	金		30	日	30	水	30	金	30	月	30	木
			31	月	31	火	31	土	31	日		

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	金	1	月	1	水	1	土	1	火	1	水
2	土	2	火	2	木	2	日	2	水	2	木
3	日	3	水	3	金	3	月	3	木	3	金
4	月	4	木	4	土	4	火	4	金	4	土
5	火	5	金	5	日	5	水	5	土	5	日
6	水	6	土	6	月	6	木	6	日	6	月
7	木	7	日	7	火	7	金	7	月	7	火
8	金	8	月	8	水	8	土	8	火	8	水
9	土	9	火	9	木	9	日	9	水	9	木
10	日	10	水	10	金	10	月	10	木	10	金
11	月	11	木	11	土	11	火	11	金	11	土
12	火	12	金	12	日	12	水	12	土	12	日
13	水	13	土	13	月	13	木	13	日	13	月
14	木	14	日	14	火	14	金	14	月	14	火
15	金	15	月	15	水	15	土	15	火	15	水
16	土	16	火	16	木	16	日	16	水	16	木
17	日	17	水	17	金	17	月	17	木	17	金
18	月	18	木	18	土	18	火	18	金	18	土
19	火	19	金	19	日	19	水	19	土	19	日
20	水	20	土	20	月	20	木	20	日	20	月
21	木	21	日	21	火	21	金	21	月	21	火
22	金	22	月	22	水	22	土	22	火	22	水
23	土	23	火	23	木	23	日	23	水	23	木
24	日	24	水	24	金	24	月	24	木	24	金
25	月	25	木	25	土	25	火	25	火	25	土
26	火	26	金	26	日	26	水	26	土	26	日
27	水	27	土	27	月	27	木	27	日	27	月
28	木	28	日	28	火	28	金	28	月	28	火
29	金	29	月	29	水	29	土	29	火	29	水
30	土	30	火	30	木	30	日			30	木
31	日			31	金	31	月			31	金

- 通常開館 8:30-20:30 (工学専門図書館 8:30-20:00)
 - 短縮 短縮開館 8:30-17:00 (工学専門図書館 1/14, 2/24, 3/10は8:30-12:00)
 - 休日開館 12:30-16:30
 - 休館
- 国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日
 本学創立記念日(5月31日)
 年末年始
 休業期間中の土・日曜日
 大学入試センター試験実施日(1月15・16日)
 入学者選抜学力検査前期・後期日程実施日(2月25日・3月12日)
 館長が特に必要と認めた日

図書館関係会議

(平成10年10月～平成11年3月)

◎ 学内関係

- 第4回附属図書館商議会
期日 平成10年12月24日
場所 附属図書館会議室
- 第2回書香編集委員会
期日 平成10年12月24日
場所 附属図書館会議室
- 第2回写真集作成小委員会
期日 平成10年12月24日
場所 附属図書館会議室
- 第2回年史編纂委員会
期日 平成11年3月3日
場所 附属図書館会議室

- 第5回附属図書館商議会
期日 平成11年3月16日
場所 附属図書館会議室

◎ 学外関係

- 平成10年度北信越地区国立大学附属図書館事務部課長会議
期日 平成10年11月19日
場所 石川ハイテク交流センター
- 平成10年度国立大学附属図書館事務部長会議
期日 平成11年1月21日
場所 三重大学

平成10年度附属図書館商議員名簿

(平成11年3月15日現在)

館長	小谷 仲男	理学部	東川 和夫
人文学部	東田 雅博	理学部	金森 寛
人文学部	大野 圭介	工学部	小泉 邦雄
教育学部	渡邊 信	工学部	長谷 博行
教育学部	呉 羽長	事務部長	竹若 重勝
経済学部	飯田 剛史	情報管理課長	岩 渕 恭幸
経済学部	澤井 啓	情報サービス課長	田中 成直